

平成29年度当初予算が成立／後期基本計画 第4次実施計画がスタート

鎌ヶ谷市の平成29年度当初予算が3月定例会で成立しました。平成29年度一般会計予算は331億7千万円、特別会計予算（国民健康保険、公共下水道事業、介護保険、後期高齢者医療）を含めた予算総額は570億4,100万円となります。

一般会計は、対前年度比5億3千万円の減となりますが、その主な要因は、市庁舎免震改修事業の完了（平成29年6月予定）で事業費が減少することによるものです。その一方で、市民福祉に直結する民生費や教育費に重点をおいた当初予算となっています。鎌ヶ谷市財政健全化計画に示す財政調整基金（※）は年度末残高約18億円の目標値に対し、平成28年度の見込み決算額は約26億5千万円と、健全な財政運営が進められています。※財政調整基金…市の年度間の財源の不均衡を調整するための積立金

平成29年度は、「後期基本計画第4次実施計画」（平成32年度までの4年間の事業計画）の開始年度であり、「地震・災害に強い街づくり」「子育て世代にやさしい街づくり」「高齢者が安心して暮らせる街づくり」「文化・スポーツの振興と緑あふれる街づくり」「にぎわいの創出と未来を見据えた街づくり」の5つの分野を積極的に進めていくとしています。



清水市長に予算要望書を提出する公明党鎌ヶ谷市議団
（平成28年11月 鎌ヶ谷市役所にて）
新年度予算には公明党の主張が大きく反映されました

<平成29年度における主な事業>

○「地震・災害に強い街づくり」では、市庁舎免震改修事業として、4月末に免震装置が稼働し、6月末には免震に関連する全ての工事が完了する予定です。また中央消防署改修に向けた実施設計を行うほか、二和川の拡幅及びバイパス整備（馬込沢地区）や護岸改修（鎌ヶ谷保育園付近）の整備、南初富二丁目雨水貯留地の整備、鎌ヶ谷二丁目及び道野辺中央五丁目の排水整備、旧第二学校給食センター跡地を活用した東道野辺五丁目地区の排水整備に向けた詳細設計などが行われます。

○「子育て世代にやさしい街づくり」では、民間保育所（① 平成29年度開園予定・定員90名、② 平成30年度開園予定・定員60名）と小規模保育事業所（平成30年4月開園予定・定員19名×2施設）を誘致し、待機児童対策を推進するとともに、放課後児童クラブの整備・拡充を行います。またひとり親家庭などで育つ子どもへの経済的支援として、児童扶養手当を第2子以降の加算分を拡充するほか、病児（白井聖仁会病院、白井市共同事業）・病後児（鎌ヶ谷総合病院）保育の実施、施設整備として、第二中学校では外壁・屋上防水改修の実施、小学校トイレの洋式化に向けた改修工事（東部小学校及び西部小学校）、また鎌ヶ谷小学校では、公共下水道に接続するための設計などが行われます。

○「高齢者が安心して暮らせる街づくり」では、地域包括ケア推進のための医療と介護の連携を行い、在宅医療の充実を進めていくとともに、老人憩いの家や認知症カフェの設置拡充を行います。また市役所敷地内には新たなシルバー人材センター事務所を設置し、雇用の拡大を図ります。

○「文化・スポーツの振興と緑あふれる街づくり」では、きらりホールにおける各種芸術文化鑑賞機会の提供、北海道日本ハムファイターズとの連携強化事業（鎌ヶ谷スタジアム20周年記念事業）の実施、陸上競技場改修に向けた実施設計、東道野辺ふれあいの森の用地取得と整備に向けた実施設計、栗野地区公園第2整備に向けた保全工事などを行います。

○「にぎわいの創出と未来を見据えた街づくり」では、インターネットによる鎌ヶ谷産梨販売の実施、ふるさと納税の返礼品事業や観光の振興を推進するほか、北海道日本ハムファイターズと連携した婚活イベントを開催します。また都市基盤整備として、新京成線連続立体交差事業（平成29年度に津田沼方面開通、平成31年度に松戸方面が開通予定）を推進、新鎌ヶ谷西側や中沢北初富線（中沢地区）の都市計画道路整備に向けた用地取得などが行われます。さらに北千葉道路の早期整備を促進します。

○このほか公共施設長寿命化における事業では、中央児童センターの全面改修工事の実施や図書館の空調設備工事、東初富公民館及び道野辺中央コミュニティセンターの外壁・屋上防水改修工事などが行われます。また新京成電鉄くぬぎ山駅のホームに内方線付点状ブロックを設置し、市内全駅への内方線付点状ブロックの整備が完了するほか、障がいのある方に対する地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、基幹相談支援センターを平成29年10月に開設する予定です。

放課後児童クラブを整備・拡充します！



鎌ヶ谷小学校放課後児童クラブ施設を視察する公明党鎌ヶ谷市議団

鎌ヶ谷市では、市内すべての小学校に放課後児童クラブ（学童保育を含む）を開設しており、4月1日現在の利用者数は745人となっています。

ソフト面では、平成27年度から外部講師を招へいし、子ども体験教室を実施しています。またハード面では、放課後児童クラブの入会児童数が年々増加傾向にあることを受け、平成28年度は、鎌ヶ谷小学校に放課後児童クラブの新施設を整備しました。さらに平成29年度は、中部小学校に新施設を整備するとともに、初富小学校は施設の大規模改修を行います。また申込者数の急増に伴う暫定的な受け入れ施設として、五本松小学校は、図書室を一時借用して運営していくほか、西部小学校は、隣接する教室を授業終了後に一時借用して運営していくこととしています。

3月定例会での市政に対する一般質問（概要）



矢崎 悟 議員

市ホームページリニューアル事業について

高齢者や障がい者を含めて誰もが支障なく利用でき、且つ自然災害等の情報をより迅速に発信できるようにすることを目的に、本市のホームページが来年6月にリニューアルされる予定です。リニューアルを行う上で、スマートフォンから見やすくするなどの利便性や検索性の向上、市の魅力が伝わるデザイン、SNSとの連携などについて質問を行い、システムの更新に向けて検討を進めるとの答弁がありました。

観光ビジョン推進事業について

本市への観光客数は、平成27年度の時点で27万人に達し、平成31年度の31万人の目標値に向け、より地域の活性化に繋げるために、これまでの取り組みに対する効果検証を実施していくことを要望すると共に、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた市のPRや多言語対応の案内標示板の設置、外国人観光客に向けた公衆無線LANの整備などの質問を行ったほか、観光スポットをより楽しむためのコンテンツ（仮想現実〔AR〕の活用など）の導入について提案しました。平成30年度に公衆無線LAN設置に向けた調査を行い、実施の可否について検討を行うとの答弁がありました。



川原 千加子 議員

鎌ヶ谷市民会館利用者の利便性と安全性について

開館3年となるきりり鎌ヶ谷市民会館は、利用者数が大きく増加しており、また、利用者の約7割の方が、徒歩、自転車、電車を利用しているとのことです。初富駅における新京成線連続立体交差事業の完成と周辺道路の整備により、市民会館利用者の利便性と安全性の向上がどのように図られていくのかについて伺いました。利便性向上のための市民会館側への改札口の設置やペDESTリアンデッキの設置はできないとのことです。安全性向上のためのバリアフリー化については、初富駅及び関連側道はバリアフリー化に対応した整備がなされるとのことですが、県道については千葉県に要望していくとの答弁がありました。

鎌ヶ谷市新春マラソン大会について

鎌ヶ谷市新春マラソン大会は、小・中学生の参加費が近隣市はどれも同額であるのに対し、本市は中学生の参加費が小学生の参加費の倍になっています。倍になっている理由については、参加賞の違いによるものとのことです。小学生と中学生を同額にすることへの市の考えを伺ったところ、多くの方に気軽に参加していただくために、参加費については今後検討していくとの答弁がありました。



小易 和彦 議員

子どものB型肝炎対策について

昨年10月1日から1歳未満の子どもを対象にB型肝炎ワクチン定期予防接種が開始されましたが、感染するとその一部は肝硬変や肝がんを引き起こす危険のある肝炎から子どもを守るために、対象から漏れた乳幼児に対しての救済措置として、予防接種助成の対象年齢を拡大しての事業実施を要望しました。

市長からは、対象年齢の拡大という任意接種への助成については、国の検討結果、近隣市の実施状況等、今後の動向に十分注意しつつ考えていきたいとの意向が示されました。

市が管理する標識やカーブミラーなどの維持管理について

鎌ヶ谷市が管理する道路は、平成27年度末現在で約240キロメートルあり、この中には、約400基の標識、約1500基のカーブミラー、約800基の道路照明灯が設置されています。交通安全対策は様々な手段・手法があり、市でも交通事故軽減のため取り組んでおりますが、これら多くの標識、カーブミラー、道路照明灯の適正な維持管理は、交通安全に大きく寄与することから、必要な予算措置も含め、計画的な維持管理に取り組んでいくことを要望しました。



佐藤 誠 議員

串崎新田貯留池の現状と今後の新たな貯留池計画について

現在の串崎新田貯留池は、貯留池に流れ込む流入口の高さが住宅地の道路面より高いという問題、そして広範囲にわたり冠水被害が発生する問題があり、この地域における新たな貯留池計画について質問しました。市からは、住宅地の浸水対策として用地の取得と貯留施設の整備を第4次実施計画に位置付け、平成29年度は、用地を取得するための測量に着手するとの答弁がありました。

市営住宅の現状と課題について

今後の市営住宅の整備については、高齢者や障がい者の方々、そして生活困窮者の方々などが安心して生活できる住環境を整えることが重要な目的となっていることから、今後の市営住宅維持管理計画、及び公営住宅不足の対策として「借り上げ型の市営住宅制度導入」を要望しました。

相撲部屋誕生による市への効果と連携について

相撲の朝日山部屋が誕生したことから、相撲部屋との連携、スポーツ振興について質問しました。市からは、部屋との協議をかさね行政や地域、教育現場とも交流を図っていきたいとの答弁がありました。



池ヶ谷富士夫 議員

市長の政治姿勢について

平成23年度からスタートした後期基本計画（平成23年度から平成32年度）は7年目を迎え、最終年度までの取り組みについて質問しました。市長からは、少子高齢化の進展や財政状況の不透明な中、選択と集中により事業の優先度を見極めながら、市民ニーズや目的の達成に市が果たす役割の大きさなどを踏まえた4つの重点政策として、「福祉」「教育」「安全・安心」「魅力あふれるまちづくり」を掲げ、その具体的な施策として、①「地震・災害に強いまちづくり」②「子育て世代にやさしい街づくり」③「高齢者が安心して暮らせる街づくり」④「文化・スポーツの振興と緑あふれる街づくり」⑤「にぎわいの創出と未来を見据えた街づくり」の5つの柱を設定し、事業を引き続き進めていくとの答弁がありました。

市道26号線バイパスについて

鎌ヶ谷高校脇から道野辺第2貯留地付近までのバイパス建設について、現在の26号線は道が狭いうえに急勾配があり、市民生活に支障をきたしている。改善策として、後期基本計画の第4次実施計画（H29年度からH32年度）の見直しの中で、事業に係る調査・研究を行うことを要望しました。